

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 富士重工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 中村 俊雅

TEL 03-3347-2005

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	271,323	△20.5	△19,673	—	△19,472	—	△19,288	—
21年3月期第1四半期	341,104	—	6,459	—	7,088	—	1,414	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△24.75	—
21年3月期第1四半期	1.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,204,173	378,372	31.4	484.68
21年3月期	1,165,431	394,719	33.8	505.59

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 377,651百万円 21年3月期 393,946百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.50	—	0.00	4.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期(予想)配当金は第2四半期末(中間)を無配といたしますが、期末は未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	624,000	△16.2	△34,000	—	△37,000	—	△44,000	—	△56.47
通期	1,320,000	△8.7	△35,000	—	△40,000	—	△55,000	—	△70.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	782,865,873株	21年3月期	782,865,873株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	3,690,600株	21年3月期	3,682,316株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	779,179,082株	21年3月期第1四半期	718,167,674株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

2. 平成22年3月期(予想)配当につきましては、第2四半期末(中間)を無配、期末配当を未定とさせていただいております。期末配当につきましては、業績や配当性向などを総合的に考慮した上で、決定させていただきたいと考えており、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間は、世界同時不況に伴う全体需要の落ち込みなどにより、自動車の売上台数が大幅に減少したことに加え、円高による為替レート差の影響などもあり、売上高は2,713億円と前年同期比698億円(20.5%)の減収となりました。

利益面につきましては、諸経費等の削減および原価低減などによる増益要因はあったものの、自動車の売上台数が大幅に減少した影響などにより、営業損失は197億円と前年同期比261億円の減益となり、経常損失につきましても、195億円と前年同期比266億円の減益となりました。また、四半期純損失は193億円と前年同期比207億円の減益となりました。

## (2) 事業の種類別セグメントの状況

第1四半期連結会計期間の事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりです。

## ①自動車事業部門

国内の登録車の販売につきましては、6年ぶりの全面改良を行った「レガシィ」が好調に推移しているものの、投入時期が5月半ばであったこともあり、その他車種の落ち込みをカバー出来ず、登録車トータルの売上台数では12千台と前年同期比3千台(17.9%)の減少となりました。

一方、軽自動車につきましては、既存車種のモデルライフの長期化や全体需要の落ち込みにより、売上台数は21千台と前年同期比7千台(25.8%)の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は33千台と前年同期比10千台(23.1%)の減少となりました。

海外につきましては、北米、中国では健闘したものの、景気の悪化、全体需要の落ち込みなどにより大変厳しい四半期となり、売上台数は67千台と前年同期比18千台(21.1%)の減少となりました。

地域別には、北米で45千台と前年同期比5千台(13.6%)の増加、ロシアを含む欧州で7千台と前年同期比17千台(71.4%)の減少、豪州で6千台と前年同期比4千台(39.2%)の減少、中国で7千台と前年同期比2千台(44.0%)の増加、その他地域で2千台と前年同期比4千台(73.1%)の減少となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は100千台と前年同期比28千台(21.7%)の減少となり、全体の売上高は2,407億円と前年同期比699億円(22.5%)の減収となりました。また、営業損失につきましては、217億円と前年同期比266億円の減益となりました。

## ②航空宇宙事業部門

防衛省向けの売上高は、多用途ヘリコプター「UH-1J」や「無人機研究システム」の売上増により、前年同期を上回りました。一方、民間向けの売上高は、「エクリプス500」の製造中止、円高による為替レート差の影響などにより、前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は224億円と前年同期比42億円(23.4%)の増収となり、営業利益につきましても、16億円と前年同期比9億円(117.1%)の増益となりました。

## ③産業機器事業部門

新たに子会社2社を完全連結としたことによる売上高の増加があったものの、需要低迷が全世界に広がり、エンジン販売台数の減少および円高による為替の影響などにより、売上高は59億円と前年同期比38億円(39.4%)の減収となりました。営業損失につきましては、3億円と前年同期比1億円の改善となりました。

④その他事業部門

新たに子会社1社を完全連結としたことによる売上高の増加があったものの、塵芥収集車フジマイティの売上台数の減少などにより、売上高は23億円と前年同期比3億円(12.0%)の減収となり、営業利益につきましても、3億円と前年同期比8億円(68.8%)の減益となりました。

(3) 所在地別セグメントの状況

第1四半期連結会計期間の所在地別セグメントの状況は以下のとおりです。

①日本

自動車の国内売上台数および海外輸出台数が大幅に減少したことに加え、円高による為替レート差の影響などもあり、売上高は1,552億円と前年同期比552億円(26.3%)の減収となり、営業損失につきましても、130億円と前年同期比180億円の減益となりました。

②北米

米国現地子会社であるスバル オブ アメリカ インク等の自動車の売上台数は増加したものの、円高による為替換算レート差の影響を受けたことなどにより、売上高は1,098億円と前年同期比53億円(4.6%)の減収となり、営業損失につきましても27億円と前年同期比16億円の減益となりました。

③その他

欧州現地子会社であるスバルヨーロッパの自動車の売上台数が減少したことに加え、円高による為替換算レート差の影響を受けたことにより、売上高は64億円と前年同期比92億円(59.2%)の減収となり、営業利益につきましても、1億円と前年同期比4億円(81.2%)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、1兆2,042億円と前期末に比べ387億円の増加となりました。  
負債につきましては、8,258億円と前期末に比べ551億円の増加となりました。  
純資産につきましては、3,784億円と前期末に比べ163億円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

[簡便な会計処理]

該当はありません。

[四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理]

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

[連結範囲に関する事項の変更]

当第1四半期連結会計期間より、ロビン ヨーロッパ GMBH インダストリアル エンジン アンド エクイップメント（旧表記：ロビン ヨーロッパ GMBH）他3社は重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。また、スバル オブ アメリカ インクの子会社1社を清算したため、連結の範囲から除外しております。

[持分法の適用に関する事項の変更]

当第1四半期連結会計期間より、ロビン ヨーロッパ GMBH インダストリアル エンジン アンド エクイップメント（旧表記：ロビン ヨーロッパ GMBH）他3社は重要性が増したため持分法の適用範囲から連結の範囲に変更しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	128,880	78,151
受取手形及び売掛金	69,168	82,352
リース投資資産	27,151	27,074
有価証券	19,970	11,439
商品及び製品	114,361	128,645
仕掛品	97,701	96,425
原材料及び貯蔵品	37,046	34,249
繰延税金資産	16,313	15,918
短期貸付金	62,007	59,434
その他	34,042	53,845
貸倒引当金	△1,588	△1,509
流動資産合計	605,051	586,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,806	123,403
機械装置及び運搬具(純額)	106,750	108,077
土地	184,026	183,741
リース資産(純額)	—	20,765
貸貸用車両及び器具(純額)	26,724	—
建設仮勘定	5,290	12,287
その他(純額)	34,365	19,786
有形固定資産合計	480,961	468,059
無形固定資産		
その他	12,937	13,972
無形固定資産合計	12,937	13,972
投資その他の資産		
投資有価証券	59,005	51,838
長期貸付金	3,416	3,334
繰延税金資産	10,990	10,702
その他	37,736	37,428
貸倒引当金	△5,923	△5,925
投資その他の資産合計	105,224	97,377
固定資産合計	599,122	579,408
資産合計	1,204,173	1,165,431

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,634	148,015
短期借入金	225,251	225,149
コマーシャル・ペーパー	25,000	24,000
1年内返済予定の長期借入金	24,156	21,956
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	1,130	2,062
未払費用	45,059	50,524
賞与引当金	21,522	14,141
製品保証引当金	17,894	17,934
工事損失引当金	810	760
その他	65,555	56,707
流動負債合計	593,011	561,248
固定負債		
社債	40,000	60,000
長期借入金	89,108	50,583
繰延税金負債	10,426	7,448
退職給付引当金	38,634	36,997
役員退職慰労引当金	626	702
債務保証損失引当金	745	745
その他	53,251	52,989
固定負債合計	232,790	209,464
負債合計	825,801	770,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	107,305	126,593
自己株式	△2,088	△2,086
株主資本合計	419,083	438,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,601	3,002
為替換算調整勘定	△49,033	△47,429
評価・換算差額等合計	△41,432	△44,427
少数株主持分	721	773
純資産合計	378,372	394,719
負債純資産合計	1,204,173	1,165,431

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	341,104	271,323
売上原価	264,647	228,660
売上総利益	76,457	42,663
販売費及び一般管理費	69,998	62,336
営業利益又は営業損失(△)	6,459	△19,673
営業外収益		
受取利息	867	192
受取配当金	380	288
持分法による投資利益	147	336
不動産賃貸料	139	142
為替差益	6,141	—
デリバティブ評価益	—	2,479
その他	791	449
営業外収益合計	8,465	3,886
営業外費用		
支払利息	888	1,143
為替差損	—	1,871
デリバティブ評価損	6,083	1
その他	865	670
営業外費用合計	7,836	3,685
経常利益又は経常損失(△)	7,088	△19,472
特別利益		
固定資産売却益	52	19
退職給付制度改定益	654	—
その他	1,123	93
特別利益合計	1,829	112
特別損失		
固定資産除売却損	1,201	329
工事損失引当金繰入額	2,901	—
その他	11	248
特別損失合計	4,113	577
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,804	△19,937
法人税等	3,373	△574
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17	△75
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,414	△19,288



## (注記事項)

## (四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間の特別利益「その他」1,123百万円には、当社子会社のクレジット販売に係る利息計算を、均分法から7/8分法へ変更した影響額1,001百万円を含みます。

## (表示方法の変更)

## (四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において「リース資産(純額)」に含めていた賃貸用車両等については、当第1四半期連結会計期間より「賃貸用車両及び器具(純額)」と表示しております。なお、前連結会計年度末の「リース資産(純額)」に含まれる「賃貸用車両及び器具(純額)」は、20,421百万円であります。

また、これ以外のリース資産(ファイナンス・リース取引に係るリース資産)については、金額的重要性が乏しいため、「その他(純額)」に含めて表示しております。

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	自動車	航空宇宙	産業機器	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	310,528	18,163	9,766	2,647	341,104	—	341,104
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,012	—	3	3,313	4,328	△4,328	—
計	311,540	18,163	9,769	5,960	345,432	△4,328	341,104
営業利益又は営業損失(△)	4,887	755	△356	1,091	6,377	82	6,459

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	自動車	航空宇宙	産業機器	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	240,669	22,406	5,918	2,330	271,323	—	271,323
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	539	—	12	2,576	3,127	△3,127	—
計	241,208	22,406	5,930	4,906	274,450	△3,127	271,323
営業利益又は営業損失(△)	△21,679	1,639	△292	340	△19,992	319	△19,673

## [所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	日 本	北 米	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	210,387	115,123	15,594	341,104	—	341,104
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,514	6,623	172	79,309	△79,309	—
計	282,901	121,746	15,766	420,413	△79,309	341,104
営業利益又は営業損失(△)	5,000	△1,135	516	4,381	2,078	6,459

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	日 本	北 米	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	155,152	109,814	6,357	271,323	—	271,323
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,083	799	111	51,993	△51,993	—
計	206,235	110,613	6,468	323,316	△51,993	271,323
営業利益又は営業損失(△)	△13,037	△2,745	97	△15,685	△3,988	△19,673

## [海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	北 米	欧 州	その他	計
海外売上高	123,665	54,287	46,042	223,994
連結売上高	—	—	—	341,104
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	36.3	15.9	13.5	65.7

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	北 米	欧 州	その他	計
海外売上高	117,288	14,509	30,400	162,197
連結売上高	—	—	—	271,323
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	43.2	5.4	11.2	59.8

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

〈 平成22年3月期 第1四半期決算 参考資料 〉

〈単位〉金額：億円、台数：千台、比率：%

	前年度実績 平成21年3月期 第1四半期 (H20. 4. 1~H20. 6. 30)	当期実績 平成22年3月期 第1四半期 (H21. 4. 1~H21. 6. 30)			当期予想 平成22年3月期 第2四半期累計 (H21. 4. 1~H21. 9. 30)			当期予想 平成22年3月期 通期 (H21. 4. 1~H22. 3. 31)		
			増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
売上高	3,411	2,713	△ 698	△ 20.5	6,240	△ 1,202	△ 16.2	13,200	△ 1,258	△ 8.7
国内	1,171	1,091	△ 80	△ 6.8	2,500	△ 102	△ 3.9	5,100	25	0.5
海外	2,240	1,622	△ 618	△ 27.6	3,740	△ 1,100	△ 22.7	8,100	△ 1,283	△ 13.7
営業利益 (利益率)	65 1.9	△ 197 —	△ 261	—	△ 340 —	△ 523	—	△ 350 —	△ 292	—
経常利益 (利益率)	71 2.1	△ 195 —	△ 266	—	△ 370 —	△ 552	—	△ 400 —	△ 354	—
当期純利益 (利益率)	14 0.4	△ 193 —	△ 207	—	△ 440 —	△ 484	—	△ 550 —	149	—
営業利益増減要因		諸経費等減 74 原価低減等 35 試験研究費減 13 売上構成差等 △ 351 為替レート差 △ 32			原価低減等 93 諸経費等減 85 試験研究費減 18 売上構成差等 △ 512 為替レート差 △ 207			原価低減等 218 諸経費等減 139 売上構成差等 △ 411 為替レート差 △ 236 試験研究費増 △ 2		
為替レート	103円/US\$ 160円/EURO	98円/US\$ 130円/EURO			95円/US\$ 125円/EURO			95円/US\$ 125円/EURO		
設備投資	132	215			310			590		
減価償却費	157	147			290			590		
試験研究費	97	84			210			430		
有利子負債残高	3,073	4,235			4,000			4,000		
業績評価		2期ぶりの減収 2期ぶりの当期純損失			4期ぶりの減収 3期連続の当期純損失			2期連続の減収 2期連続の当期純損失		
日本売上台数	43	33	△ 10	△ 23.1	78	△ 16	△ 17.2	160	△ 18	△ 10.3
登録車	15	12	△ 3	△ 17.9	35	△ 1	△ 2.6	73	3	4.6
軽自動車	28	21	△ 7	△ 25.8	43	△ 15	△ 26.4	87	△ 22	△ 20.0
海外売上台数	85	67	△ 18	△ 21.1	159	△ 29	△ 15.5	348	△ 29	△ 7.7
北米	40	45	5	13.6	102	11	12.1	215	8	3.8
欧州	24	7	△ 17	△ 71.4	23	△ 26	△ 53.1	56	△ 22	△ 28.2
その他	22	15	△ 6	△ 29.6	34	△ 14	△ 28.6	77	△ 15	△ 16.3
連結売上台数総計	128	100	△ 28	△ 21.7	237	△ 45	△ 16.1	508	△ 47	△ 8.5
生産台数合計	153	95	△ 58	△ 37.9	231	△ 88	△ 27.6	490	△ 76	△ 13.4
日本	128	85	△ 44	△ 34.1	197	△ 71	△ 26.4	404	△ 70	△ 14.7
米国	24	10	△ 14	△ 57.8	34	△ 17	△ 33.5	85	△ 6	△ 6.8
売上高 事業別	自動車 3,105 航空宇宙 182 産業機器 98 その他 26	2,407 224 59 23	△ 699 42 △ 38 △ 3	△ 22.5 23.4 △ 39.4 △ 12.0	/					
営業利益 事業別	自動車 49 航空宇宙 8 産業機器 △ 4 その他 11 消去・全社 1	△ 217 16 △ 3 3 3	△ 266 9 1 △ 8 2	— 117.1 — △ 68.8 —						
売上高 所在地別	日本 2,104 北米 1,151 その他 156	1,552 1,098 64	△ 552 △ 53 △ 92	△ 26.3 △ 4.6 △ 59.2						
営業利益 所在地別	日本 50 北米 △ 11 その他 5 消去・全社 21	△ 130 △ 27 1 △ 40	△ 180 △ 16 △ 4 △ 61	— — △ 81.2 —						

注1. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注2. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

※上記の次期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

2009年7月31日

**富士重工業 2009年度第1四半期連結業績の概要****<2009年度第1四半期業績：連結売上高>**

スバルの国内販売は、5月20日に新型レガシィを導入したものの、本格的な売上への貢献は6月以降となり、新車効果の一巡したフォレスターや軽自動車を含めた既存車種の落ち込みが大きく、前年同期比76.9%の32,893台となりました。

一方、海外販売ではフォレスターが北米、中国で引き続き好調でしたが、世界的な景気後退の影響から欧州、ロシア、豪州などの落ち込みが大きく、合計では前年同期比78.9%の67,266台、全世界合計の販売台数では同78.3%の100,159台となりました。

この結果連結売上高は、為替の円高の影響等も加わり前年同期比79.5%、698億円の減収となる2,713億円となりました。

**<2009年度第1四半期業績：連結損益>**

営業利益は、販売台数減少による国内・海外での売上構成の悪化や、為替レートが円高に推移したことなどの減益要因が大きく、国内販売での販売特約店再編などによる諸経費削減、ならびに原価低減に努めましたが、前年同期比261億円減益の197億円の損失となりました。

経常利益は前年同期比266億円減益の195億円の損失、純利益は同207億円減益の193億円の損失となりました。

**<2009年度業績予想 見通し>**

これまでのところ自動車需要が低迷する米国市場では、新型レガシィ導入前であるものの、フォレスター、インプレッサを中心に、ほぼ前年並みの販売を維持し順調に推移しています。さらに国内市場においても発売後2ヶ月で目標の約2倍の受注を記録するなど、好調な新型レガシィを第2四半期以降にグローバルで販売を開始する予定です。しかしながら2009年度の業績予想については、国内外市場で自動車需要の先行き、および為替、原油、資源価格等の動向についても不透明であることから、上期、通期業績ともに期初予想値を変更せず、計画の達成に向けて取り組んでいきます。

※通期連結決算予想：売上高1兆3200億円、営業損失350億円、経常損失400億円、当期純損失550億円